

工事事務(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところではありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事務が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事務が再び発生することのないように工事事務概要を皆様にお知らせいたします。

本資料を活用し、受注者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願いいたします。

【工事事務(速報)発生状況】 (H24.1.31現在)

	1月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成23年度(今年度)	5件	57件	1人	16人
平成22年度(昨年度)	9件	70件	3人	25人

注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事務発生件数(速報)を示す。

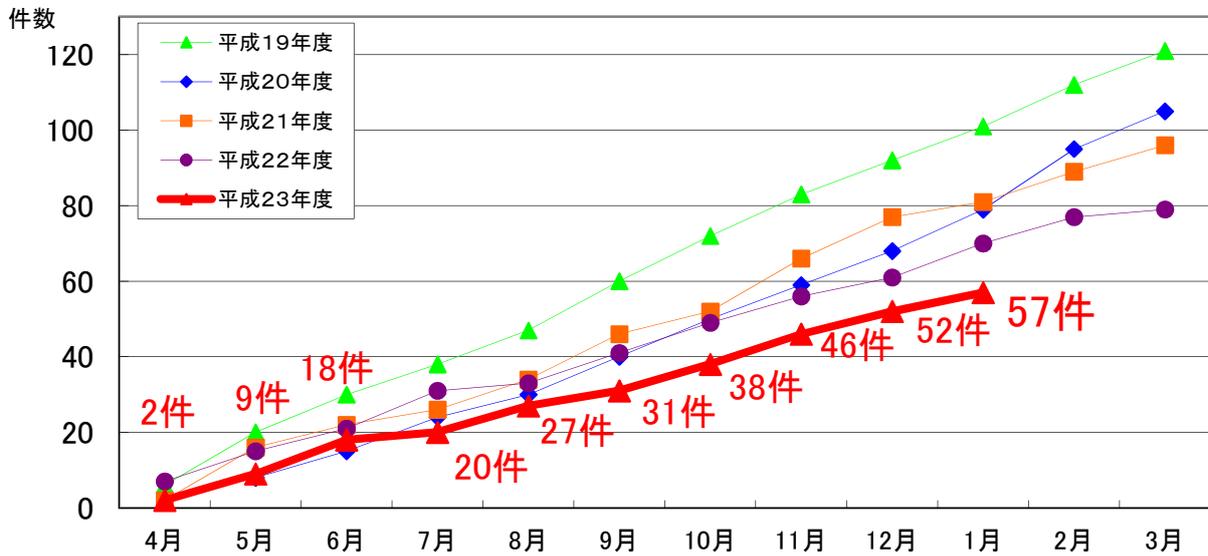
注2) 「1月発生件数」は、1/1～1/31の間に起きた件数。(月毎)

注3) 「累計件数」は、4/1～1/31の間に起きた件数。(累計)

注4) 「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～1/31の累計人数を示す。

注5) 平成23年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。

●工事事務件数



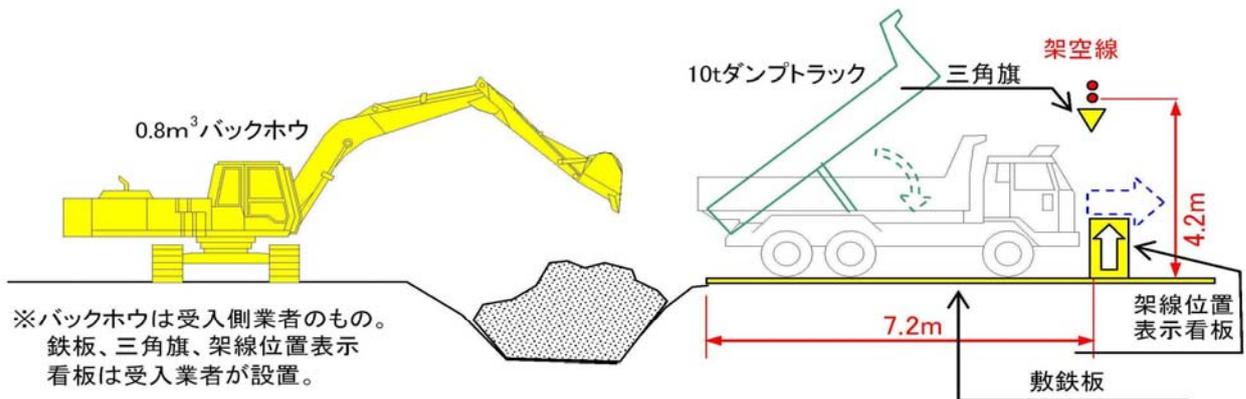
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成19年度	累計 (月毎) 6件	20件 (14件)	30件 (10件)	38件 (8件)	47件 (9件)	60件 (13件)	72件 (12件)	83件 (11件)	92件 (9件)	101件 (9件)	112件 (11件)	121件 (9件)
平成20年度	累計 (月毎) 2件	8件 (6件)	15件 (7件)	24件 (9件)	30件 (6件)	40件 (10件)	50件 (10件)	59件 (9件)	68件 (9件)	79件 (11件)	95件 (16件)	105件 (10件)
平成21年度	累計 (月毎) 2件	16件 (14件)	22件 (6件)	26件 (4件)	34件 (8件)	46件 (12件)	52件 (6件)	66件 (14件)	77件 (11件)	81件 (4件)	89件 (8件)	96件 (7件)
平成22年度	累計 (月毎) 7件	15件 (8件)	21件 (6件)	31件 (10件)	33件 (2件)	41件 (8件)	49件 (8件)	56件 (7件)	61件 (5件)	70件 (9件)	77件 (7件)	79件 (2件)
平成23年度	累計 (月毎) 2件	9件 (7件)	18件 (9件)	20件 (2件)	27件 (7件)	31件 (4件)	38件 (7件)	46件 (8件)	52件 (6件)	57件 (5件)		

※なお、平成21年度工事事務より、国の管理物損傷事故件数を措置の対象としている。

発生日時	平成 24 年 1 月 6 日 (金)			12 時 5 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	架空線切断 (ケーブルテレビ2時間不通・約10世帯影響)		
事故概要	土砂受け入れ地にて10tダンプが荷台を引っ掛けて架空線を切断したもの。					
公衆損害事故-架空線・標識等の損傷						

事故発生状況

土砂の荷卸し後、荷台を下げかけの状態、架空線下を通過できる程度に下がったものと思込んだ運転手がダンプトラックを前進させ、ケーブル(2本のうち1本)に荷台を引っ掛けて切断した。またケーブルに引張られて切断箇所両脇の電柱各1本が傾斜した。



【事故発生原因】

- ・架空線に対する注意喚起が不十分であったため。 など

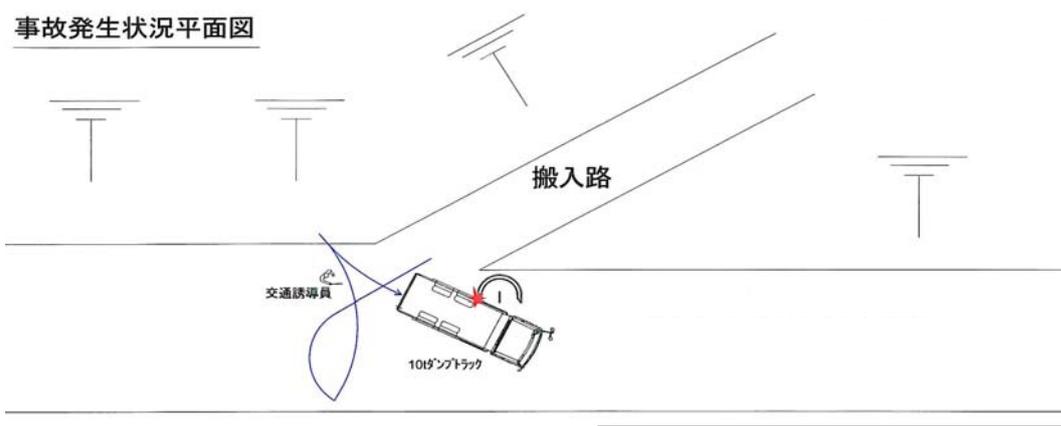
【事故防止のポイント】

- ・架空線の近接箇所における作業時の注意事項について周知・徹底する。
- ・誘導員を配置し、荷台の下げ忘れなどを確認する。 など

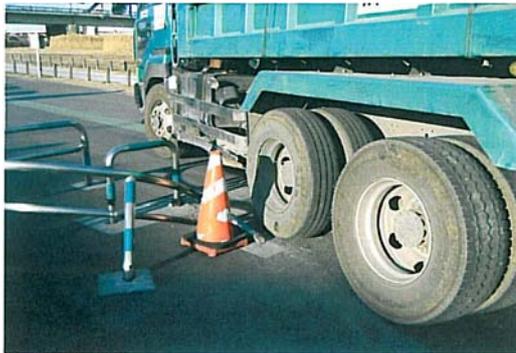
発生日時	平成 24 年 1 月 12 日 (木) 10 時 50 分				天候	晴
工事情報	公園系事務所 造園工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	車止め損傷		
事故概要	土砂運搬中、車止めのポールに接触、損傷させたもの。					
公衆損害事故-その他公衆損害						

事故発生状況

事故発生状況平面図



搬入路から管理用通路に入る際、鋭角であるため、切り返して左折しようとした。一度、切り返して再度直進しようとした際にサイドバンパーを車止めに接触させ損傷させたもの。



事故発生状況

【事故発生原因】

- ・誘導時の周囲確認不足によるもの。
 - ・運転手の左後方確認不足によるもの。
- など

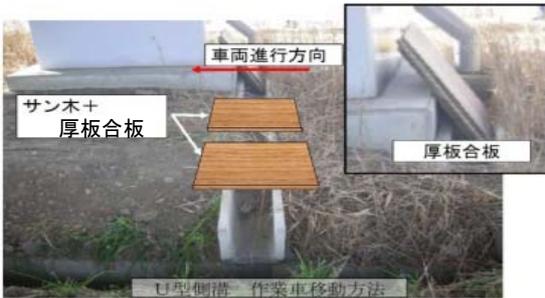
【事故防止のポイント】

- ・適切な誘導を実施するよう作業員に周知・徹底する。
- ・車両安全運転教育の徹底。 など

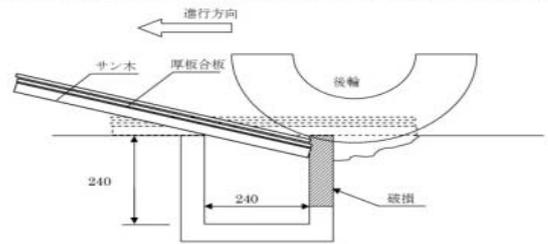
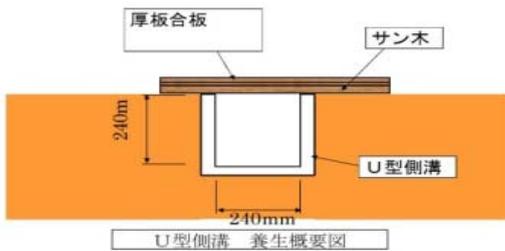
発生日時	平成 24 年 1 月 18 日 (水) 11 時 40 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 業務				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	側溝損傷	
事故概要	高所作業車で側溝上を通過しようとした際に、側溝を損傷させたもの。				
公衆損害事故-その他公衆損害					

事故発生状況

○養生状況



■断面図



- ・橋梁点検。
- ・高所作業車の移動中、後輪が横断する時に、U型側溝上に設置していた養生板が外れ、後輪が直接U型側溝に載ったため、側溝の側壁面が破損したもの。



側溝損傷状況

【事故発生原因】

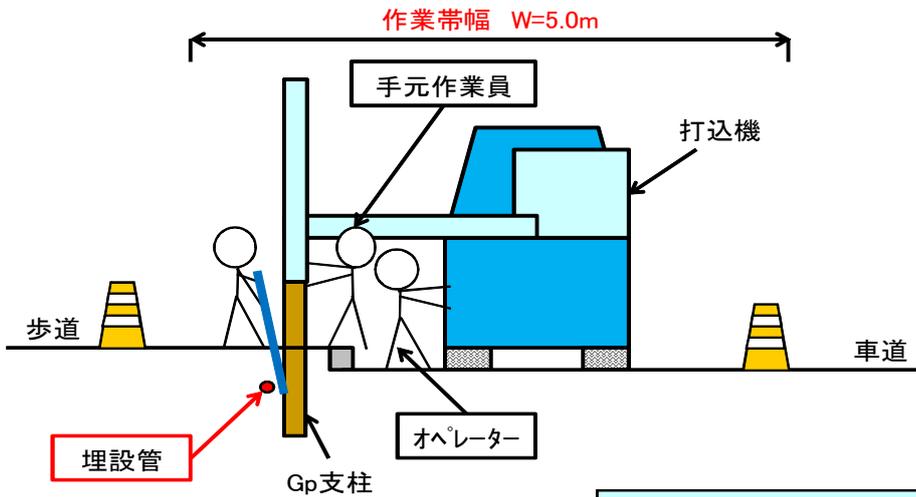
・高所作業車の規格に対して、養生が不十分だったため。 など

【事故防止のポイント】

- ・周辺地盤状況を確認した上で養生を行い、養生に不備がないか確認する。
- ・土嚢等で養生を強化する。 など

発生日時	平成 24 年 1 月 11 日 (水) 15 時 0 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	照明灯ケーブル損傷	
事故概要	ガードパイプの打込み作業時に、照明灯のケーブルを損傷させたもの。				
公衆損害事故-地下埋設物件損傷					

事故発生状況



損傷状況

- ・ガードパイプ設置作業。
- ・事前に試掘にて照明配管の位置を確認したところ、照明配管が新設支柱と干渉する位置にあったため、照明配管の2箇所をバールを用いて支柱を民地側に寄せていた。
- ・支柱のセットと同時にバールを取り外したため、支柱の下に照明配管が入り込んでしまったが、それに気付かず、照明配管の位置を確認しないまま支柱の打込みを開始した。その結果、支柱の下方にある照明配管を切断したものの。

【事故発生原因】

- ・地下埋設物に対する注意喚起が不足していたため。 など

【事故防止のポイント】

- ・地下埋設物近接箇所での作業については、具体的な作業手順を指示し、作業内容を周知・徹底すること。 など

発生日時	平成 24 年 1 月 30 日 (月) 18 時 0 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	59	作業員	右手指負傷	
事故概要	アンカー工施工中、作業員がインナーロッドに手を挟まれ負傷したもの。				
工事関係者事故－建設機械の移動に関連した事故					

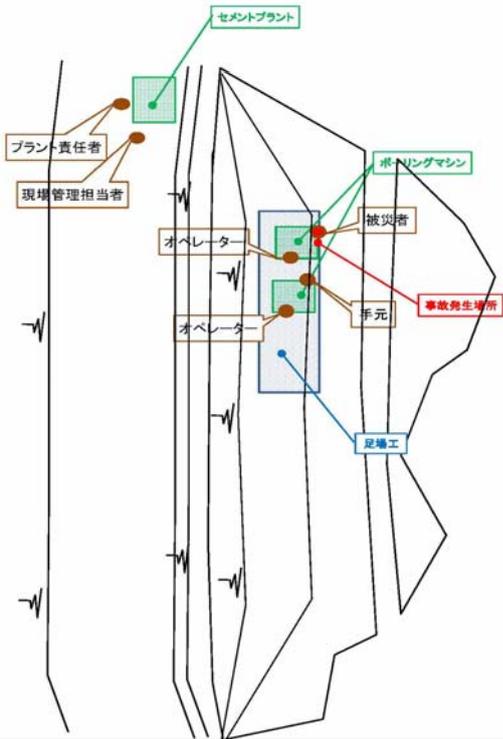
事故発生状況



ロッド接続部詳細①



ロッド接続部詳細②



- ・アンカー工における削孔完了後、インナーロッドの抜管作業を行っていた。
- ・スパナをインナーロッドにセットしドリルヘッドに接続作業にて、一旦インナーロッドをドリルヘッドに閉め込む為、スパナを締付固定し、その後手元者がスパナを取り外しやすい箇所まで徐々に戻した。
- ・スパナの取手部が一旦停止したため、この位置にて取り外すと誤解した手元者が、オペに合図をしないままスパナの取手部を握り、取り外そうとした際に、オペがインナーロッドを回転させてしまい、手元者の指がスパナと受け台部分に挟まれ負傷したもの。

【事故発生原因】
 ・合図をせずに作業をしたため。(労働基準監督署より元請、下請に是正勧告書<安衛法第20、29条、安衛則第104条>) など

【事故防止のポイント】
 ・合図方法について作業員に周知・徹底する。 など